



三才(三才)と三界(三界)

Samjae and Samgye

目次



- 1 三才(三才)と三界(三界)とは？
- 2 東学思想の三才(三才)概念
- 3 大巡思想の三界(三界)概念
- 4 三界システム構造(天界・地界・人界)
- 5 三界公事と三界至尊の役割
- 6 神明界との連結意味
- 7 三才と三界の比較
- 8 結論および示唆点

三才(三才)と三界(三界)の定義

三才(三才)

東アジア伝統思想の核心軸で、宇宙を構成する三つの根本要素を意味する。

- 天(天):天、宇宙の原理と秩序
 - 地(地):地、物質世界の根
 - 人(人):人間、天地の気運を受けて生まれた存在
- 主に抽象的・属性的概念であり、相互関係と調和を強調する。

三界(三界)

大巡思想で強調する世界構造で、実体的でシステムの宇宙構成を意味する。

- 天界(天界):天の世界、神的存在と原理の領域
- 地界(地界):地の世界、物質的基盤の領域
- 人界(人界):人間の世界、現実世界の領域

実体的・システムの構造で、神明界と連結され具体的な作動原理を持つ。



核心的相違点三才が世界の構成原理と調和に焦点を合わせる一方、三界はさらに進んで実体的世界システムと神明界を含む具体的な宇宙構造を説明する。

東学思想の三才(三才)概念

「天も我が心であり、地も我が心であり、人も我が心である。」

- 東学思想の核心的教え

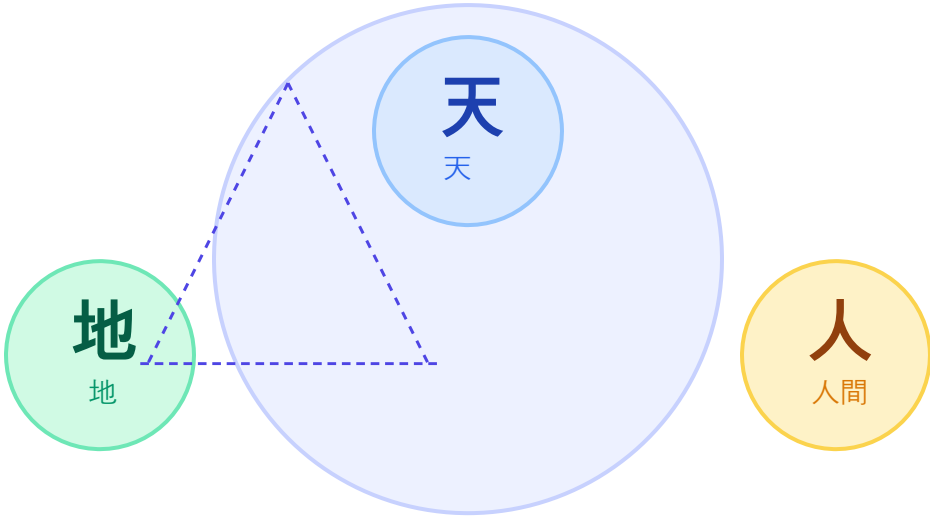
東学の三才理解

- 天・地・人の調和 - 天と地と人が本質的に一つの気運で連結される
- 内在的神観 - 天(神)が人間の中に内在するという思想的革新
- 実践的思惟 - 世界秩序と均衡のための人間の役割の強調

東洋思惟の普遍的枠組み

東学の三才概念は東アジア伝統思想の脈絡を受け継ぎつつも、人間中心の実践的次元を強調して西学(西學)に対応する新たな思想的流れを形成した。

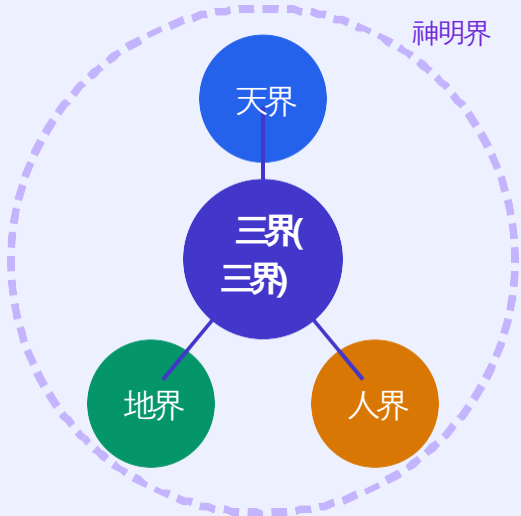
核心的意義東学の三才概念は既存の儒教的世界観から一步進んで人間内面に天(天)が内在するという革新的思想であり、以降の大巡思想の三界概念発展の思想的基盤となった。



東学の三才(三才)世界観

天・地・人の統合的調和を通じて世界秩序の基本構造を形成し、特に人間の主体的実践を通じた世界変革を志向する。

大巡思想の三界(三界)概念と特徴



大巡思想の三界は神明界と連結された実体的システム

大巡思想における三界の核心的特徴

実体的世界システム

単なる象徴的概念ではなく具体的な構造と実在性を持つ世界体系

神明界(神明界)との連結性

三界は神明(神明)たちの世界と密接に連結され相互作用する

開闢(開闢)の対象

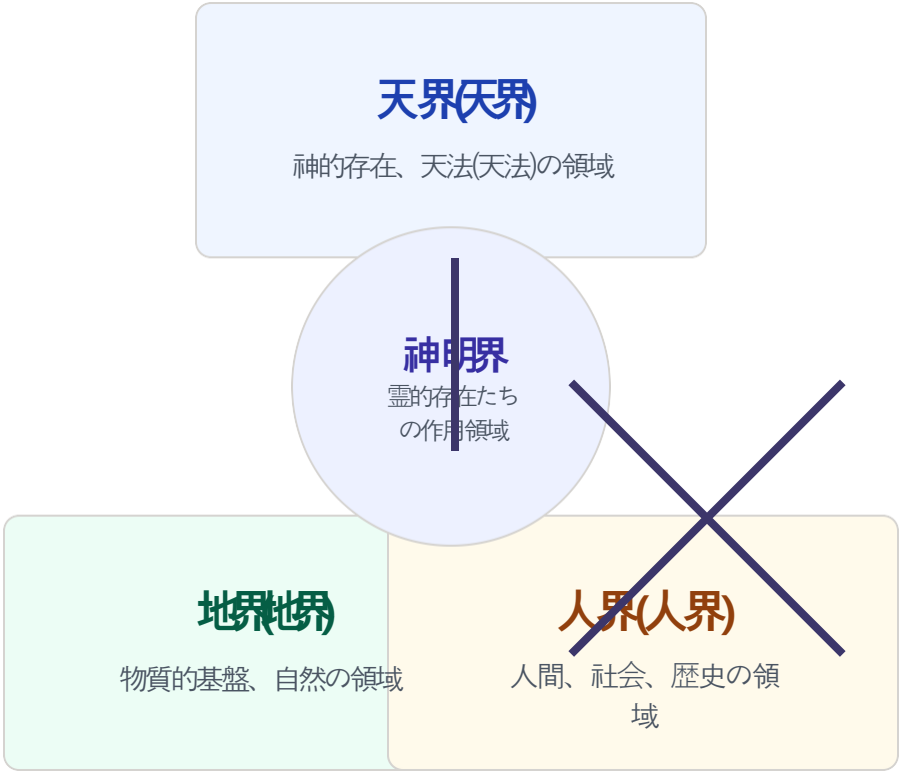
三界は「三界公事」を通じて新たに変革・革新される対象

「三界は大巡思想の特徴を露わにする教理の核心語として現れる。三界は天界・地界・人間界を通じて言い、九天大元造化主神は三界至尊(三界至尊)として三界を統察し三界役事をする。」

三界の宇宙論的構造と発展過程



三界システム構造天界地界人界



三界の構造と相互作用

- ① 有機的連結性:三界は個別的領域でありながらも互いに緊密に連結されている。各界は独立的体系であるが同時に全体システムの一部として作動する。
- ② 神明界との相互作用:三界は神明界と相互作用し、神明(神明)は三界の各領域に影響を与え調和と秩序を維持する。
- ③ システム的作動原理:天界の法理(法理)、地界の物質界法則、人界の社会的秩序が互いに呼応して作動する実体的体系を成す。

大巡思想において三界は単なる区分ではなく、実際の作動体系を備えており神明界との相互作用を通じて宇宙の秩序と調和を維持する。これは伝統的三才概念より具体的でシステム的な世界観を提示する。

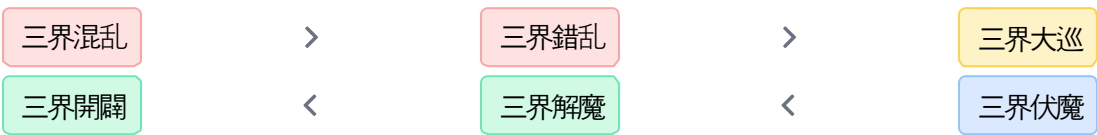
三界公事・三界至尊と神明界

三界公事(三界公事)

大巡思想の核心教理で、天・地・人三界を開闢(革新)する神聖な事業を意味する。

- ◆ 新たな世界秩序の創造作業相
- ◆ 克から相生への転換
- ◆ 「この開闢は他人が作ったものに従うことなく新たに作られる」

三界公事の進行過程



三界至尊(三界至尊)

九天大元造化主神(九天大元造化主神)として、三界を総括し調整する最高存在である。

- ◆ 三界を統察(統察)する権能 三界で
- ◆ 役事(役事)する主体 三界の問題の診
- ◆ 断と解決を担当

神明界との連結

- ◆ 神明(神明)界と三界の有機的關係
- ◆ 神明の調和と秩序の回復 天地公
- ◆ 事を通じた神明界の再編成

核心三界公事は単なる教理ではなく宇宙的次元の實在的作用で、三界至尊の主宰の下に神明界と三界が相互作用して後天開闢へと向かう総体的プロセスである。

三才と三界の比較および結論

区分	三才(三才)	三界(三界)
概念特性	属性的抽象的概念	実体的・システムの体系
構造的特徴	天地人の属性と調和の強調	天界・地界・人界のシステム構造
神明関係	神明への言及が相対的に微弱	神明界との直接的融合と作用
世界観特性	東洋伝統思惟体系	東西思惟体系の統合

大巡思想の三界論的世界観

- 天界・地界・人界を有機的・システムの的に連結
- 神明界を統合的に包含する拡張された宇宙観の提
- 示 西洋の実体性と東洋の属性的世界観の統合
- 三界公事を通じた世界変革と開闢の強調

示唆点および意義

- 東アジア伝統思想の創意的継承と発展
- 三界の世界観と神明界の有機的結合
- 現代社会の問題解決のための新たなパラダイムの提
- 示 東西統合的視点で包括的世界理解が可能

「大巡田相は二界論を涵括して霊性・物質・南洋・西洋・に於て相俟たざる可也」